

共 育

No. 1

校長 高橋 教之

45名のピカピカの新一年生を迎えて新学期スタート!



令和5年度(2023年度)は45名の新1年生を迎え、4月10日(月)全校児童305名で新学期がスタートしました。久しぶりに全校児童が体育館に集まって着任式・始業式を行いました。入学式も新1年生・保護者の皆様、そして2~6年生も参加し和やかな雰囲気の中、無事に行うことができました。入学式では、新1年生に「元気な挨拶や返事をしましょう」「毎日元気に学校来てください」の2つのお願いをしました。1年生は、「はい!」と元気に答え、頼もしく思いました。

また、始業式では、2年生には「1年生にいろいろなことを教えること」、3~5年生には「今まで学習したり、経験したりしてきたことを生かし、自分で考え、判断して行動すること」、6年生には「学校のリーダーとして役割を果たし、楽しく充実した日々を送ること」と話をしました。さらに、今年度は「自分をコントロールする力」、「自分の行動がどのような結果になるかを考える力」、「周りの人の気持ちを想像する力」の3つの力を身につけてほしいとも話をしました。



今年度も、本校職員が「チーム下音更」として一丸となって教育活動を推進していきます。そのためにも、保護者・地域の皆様との連携は欠かすことができません。ご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和5年度「学校経営」の重点について

ゴールデンウィーク以降、感染症法による取り扱いが変わっていくことに伴い、学校における対応も段階的に緩和していくことと思います。今年度は、ひとり一人の子どもたちの思いや願いに寄り添うとともに、学校としての役割や期待をふまえながら「また明日!」と言いたくなる学校をめざし、教育活動をより一層推進していきます。

<今年度の学校経営の重点> チーム下音更として「揃える・徹底する・継続する」を徹底!

☆「主体性」・「コミュニケーション能力」を育てます。

・本校の目指す子ども像の一つである「自立の基礎」(自分から行動できる)に必要な資質・能力を「子どもたちが学びとる授業」の中で育てます。

☆「chromebook」を学習道具の一部として効果的に活用します。

・授業の目標達成の学習道具として効果的に活用し、学校と家庭をつなぐツールとしても活用していきます。

☆「働き方改革」を推進します。

・子どもたちへの授業や教育活動の質を決して低下させることなく、教師が授業づくりに専念し、子どもたちと「生き生き」と向き合う時間を、確保できる環境づくりを進めてまいります。



(1年生のお手伝いを積極的に! 6年生!)

= 転入教職員を紹介します！ =



鹿追町立笹川小学校より参りました。前任校は全校児童が25名の小さな学校でしたので、子どもたちや職員の多さに圧倒されています。早く環境に慣れ、保護者・地域の皆様とともに、「明日も学校に行きたい」と思える学校づくりに努めたいと思います。よろしくお願いいたします。 高橋 教之

この度、陸別町立陸別小学校から異動してきました。まだまだわからないことがたくさんありますが、保護者の皆様、地域の皆様と一緒に、下音更小学校の子どもたちの成長に貢献することができるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。 鈴木 啓太



とんがり屋根のモダンな校舎に、ひょうたん池など豊かな自然の面影が残る校庭と素敵な環境で、明るく元気な子どもたちの笑顔に囲まれ、日々、楽しく過ごせることを嬉しく思っています。保護者の皆さんと共に、子どもたちの成長を支え、喜びあえるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。 高瀬 悟史

帯広市立明星小学校から異動してきました。元気いっぱいの子供たちが安心して学校生活を送れるように、笑顔で頑張ります。また、保護者・地域の皆様と一緒に手を取り合っともに子どもたちの成長を支えていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

福田 純子



帯広市立豊成小学校から異動して参りました。下音更小学校の子どもたちは、元気いっぱい朝から気持ちのよい挨拶ができる素敵な子どもたちです。子どもたちが、毎日「学校が楽しかった」と思えるよう、頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 木村 文光子

この度、下音更中学校より異動してきました学校事務職員の野口芳和です。同じ中学校区の異動でしたので、見なれた校舎で少し安心しています。子どもたちから元気をもたらしている毎日です。これからもよろしくお願いいたします。 野口 芳和



4月から学習支援員として勤務することになりました。10年前に卒業した思い出深い下音更小学校で働けることを嬉しく思います。小学校のころからサッカーをしており、体を動かすことが大好きなので、楽しく元気にサポートしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。 齊藤 理子